自然数 n に対して n 以下の自然数で n との最大公約数が 1 であるものの個数を f(n) で表す.

- (1) f(12), f(13), f(16) を求めよ.
- (2) m が n 未満の自然数で m と n との最大公約数が 1 であるとき, n-m と n と の最大公約数も 1 であることを示せ.
- (3) $n \ge 3$ のとき f(n) は偶数であることを示せ.

(92 埼玉大 後 理・工 1)

【答】

- (1) f(12) = 4, f(13) = 12, f(14) = 8
- (2) 略
- (3) 略

【解答】

mを $1 \le m \le n$ を満たす自然数、整数 $m,\ n$ の最大公約数を $(m,\ n)$ とし

$$A_n = \{m \mid (m, n) = 1\}$$

とする. また, 集合 X の要素の個数を n(X) と表す.

(1) $n = 12 = 2^2 \cdot 3$ のとき、 $\overline{A_{12}}$ は 2 または 3 の倍数の集合であり

$$\overline{A_{12}} = \{2, 4, 6, 8, 10, 12, 3, 9\}$$

である. $n(\overline{A_{12}}) = 8$ であるから

$$f(12) = 12 - n(\overline{A_{12}}) = 12 - 8 = 4$$
(答)

n=13 のとき、 $\overline{A_{13}}=\{13\}$ であり

 $n=16=2^4$ のとき、 $\overline{A_{16}}=\{2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16\}$ であり

$$f(16) = 16 - n(\overline{A_{16}}) = 16 - 8 = 8$$
(\(\frac{\dagger}{2}\)

である.

(2) n-m(>0) と n との公約数を g とすると

$$n - m = ag, \ n = bg$$

となる整数 a, b が存在する. このとき

$$m = n - ag = (b - a)g$$

であり、g は m、n の公約数でもある。(m, n) = 1 より

$$q = 1$$

であり, n-m と n との最大公約数も 1 である.

……(証明終わり)

(3) $m \in A_n$ である m に対して

m=n-m とすると, n=2m であり

$$(m, n) = (m, 2m) = m \ge 2$$
 $(: 2m = n \ge 3 \ \text{$\sharp$ } 0 \ m \ge 2)$

であり、(m, n) = 1 に反する. したがって、 $m \neq n - m$ である.

 $m \neq n-m$ のとき, (2) より $n-m \in A_n$ であるから $\{m, n-m \mid m \in A_n\}$ の要素の個数は偶数である.

以上より、
$$f(n)$$
 は偶数である. \cdots (証明終わり)

• A_n は $1 \leq m < \frac{n}{2}$ かつ (m, n) = 1 を満たす m と n-m を対にしてつくられる集合

$$\left\{m,\ n-m\ \middle|\ 1\leqq m<\frac{n}{2}\ \text{ליכ }(m,\ n)=1\right\}$$

である. n = 12, 13, 16 のとき

$$A_{12} = \{1, 11, 5, 7\},\$$

$$A_{13} = \{1, 12, 2, 11, 3, 10, 4, 9, 5, 8, 6, 7\},\$$

$$A_{16} = \{1, 15, 3, 13, 5, 11, 7, 9\}$$

といった具合いである.